

### ◆症例検討

テーマ 「明日から始められる慢性腎臓病治療」

講師 腎臓内科 堀口 昌克 先生

開放型カンファレンス

## 明日から始められる慢性腎臓病治療

2011年12月22日

福井県立病院  
腎臓内科 堀口昌克

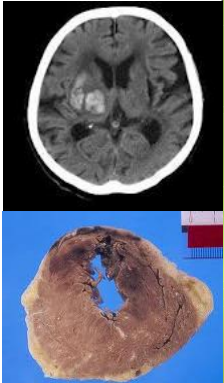
### 明日からの診療に生かすために

- 1、慢性腎臓病について
- 2、腎性貧血について
- 3、降圧療法について
- 4、症例提示
- 5、最近のトピックスと提案

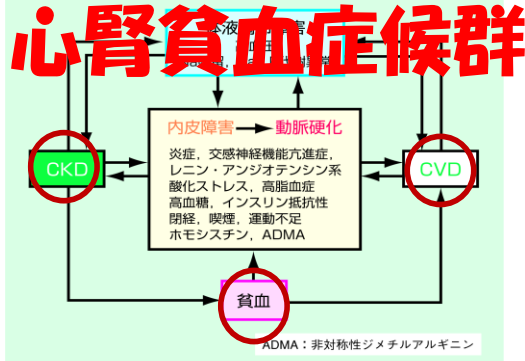
### 慢性腎臓病: chronic Kidney disease:CKD

慢性腎不全の概念と違うところは？

- 1、透析導入のリスク
- 2、脳血管障害・心血管イベントのリスク



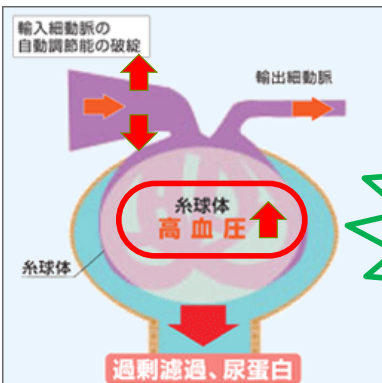
## 心腎貧血症候群



ADMA: 非対称性ジメチルアルギニン

図 16 心腎連関: 体液調節障害, 内皮障害による動脈硬化, 貧血が悪循環をきたす

### CKDの高血圧は・・・



糸球体の内圧上昇している

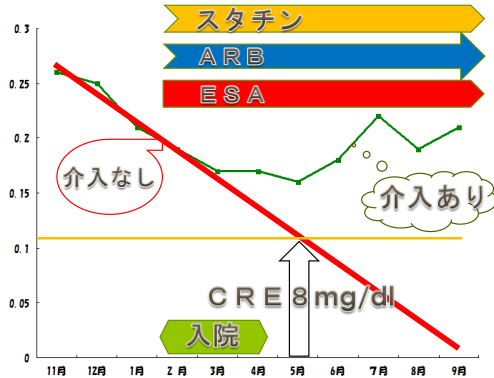
過剰濾過、尿蛋白

### 56歳女性

【主訴】慢性腎不全の進行

【現病歴】  
20年前より糖尿病指摘あり。近医通院していた。慢性腎臓病指摘され加療中であったが腎障害の進行に伴い当院外来紹介。  
維持透析導入と腎教育目的で今年2月から4月に入院していた。また入院中に内シャント作成済み。  
当科外来に通院中、腎不全保存期維持。

## 1/Creの推移



## C.E.R.A.とは？

continuous erythropoietin receptor activator  
持続型ESA製剤

**新しいESA製剤が登場しました！！**

## 紹介のタイミングですが

**65歳以上の方は**  
**Cre 1.0-1.3mg/dl**になれば  
腎臓内科へ御紹介ください

→**eGFR50未満**に相当します

## もうひとつ..

**蛋白が2+を持続**  
or  
**蛋白1+以上かつ潜血1+**

腎臓内科へ御紹介ください

“慢性腎臓病 chronic kidney disease;CKD”について“慢性腎不全”といった概念との違い、合併する貧血、高血圧についての易しい解説から、腎機能障害が認められる症例の腎臓内科へのコンサルトのタイミングについてのお話でした。

〔文責：放射線科主任医長 吉川〕